2025年4月14日

各位

会社名 ククレブ・アドバイザーズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮寺 之裕
(コード番号：276A 東証グロース)
問合せ先 取締役執行役員 広報・IR室長 玉川 和信
(TEL 03-6272-8642)

企業の土地有効活用支援に関する新規事業立ち上げに関するお知らせ

当社は、2025年4月14日開催の取締役会において、下記のとおり新たな事業を開始することについて決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 新規事業開始の趣旨

当社グループは企業不動産（CRE）に関する各種サービスを通じ、企業の経営課題解決を目的に様々なCRE提案を日々おこなっております。その中で最近の企業における共通の課題である「資本効率の改善」に関連し、上場・非上場を問わず、多くの企業が「保有不動産の有効活用」について課題を有している状況であり、中期経営計画を開示している企業のうち「資産・資本効率の向上」を経営課題としている会社は約40%^(注1)にも上ります。

当社はこうした経営課題を抱えた企業に対し、過去にも当社の不動産テックシステムである“CCReB CREMa”（以下「ククレブクレマ」という。）を活用し、当該遊休地に対しニーズを持った顧客をマッチングし、物流施設建設による収益不動産化などの実績を積み上げて参りました。

有効活用の提案において、企業側の意思決定における懸念となるのは、有効活用で新設する不動産に顧客（テナント）がつくのか、顧客と長期の賃貸借契約を締結できるのか（テナント退去リスク）、といった論点であり、当該論点が企業の土地有効活用の推進への障害となっているものと認識しております。

そこで、この度当社では、首都圏・東海圏・近畿圏等の企業の遊休地において危険物倉庫^(注2)の開発を提案し、当該危険物倉庫を当社がマスターリースにて借り上げることで、企業側の懸念点を排除し、企業側の資本効率改善施策をスピーディーに後押しするとともに、今後も増える土地有効活用に関し、既存ビジネスであるプロジェクトマネジメント事業に加え、有効活用不動産のマスターリース事業を開始することで、CREソリューションビジネスにおける提案メニューを増やし、更なる収益機会の拡大をするために新規事業を開始することといたしました。

注1 2023年4月から2025年3月末までに開示された中期経営計画書からCCReB AIを利用し当社調べによる。

注2 危険物倉庫とは、引火しやすい物質、爆発を起こす危険性のある物質など「法律により指定された危険性がある物」を保管する施設をいい、危険物の規定や保管する設備などの制度については、消防法で細かく定められている。